

鹿島歴史民俗資料館刊行物のご案内

【歴史民俗資料館図録】

※注文方法については、最終ページをご覧ください。

○最新刊

島根半島の考古学

2026年刊 A4判 30ページうち図版49点 1,100円
199g 送料230円

日本海に大きく張り出した島根半島。日本海沿岸の砂利浜から漕ぎ出した人々は船のバラスト砂利を棺に敷くことを提唱。葬送船の存在を明らかにする。また、当時の港の姿を考察する。古く出土していた佐太講武具塚採集縄文時代資料集を併載。



佐太神社の造形 重要文化財本殿と美術・工芸品

2016年刊 A4判 カラー12ページ
うち図版34点 200円 87g
送料180円

2016年春、重要文化財佐太神社本殿の3箇年にわたる保存修理が終了した。その造営・修理の歴史を振り返り、あわせて佐太神社所蔵の宝物、藩主などからの奉納の品を紹介する。



○歴史

茶色い戦争ありました—軍事郵便と鹿島の戦争—

2023年刊 A4判 32ページうち図版50点 1,000円
204g 送料230円

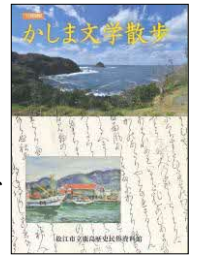
日露戦争出征兵士の79通の軍事郵便から、浜田歩兵第21連隊での訓練、戦争での足跡をたどる。アジア太平洋戦争では、鹿島の地の銃後の姿を、遺品、古写真などから振り返る。



かしま文学散歩

2015年刊 A4判 24ページ
うち図版37点 600円 176g
送料230円

古くから詩歌や文章で表現されてきた鹿島町の風景。『出雲国風土記』、小泉八雲、木下利玄、宮本常一などによる描写を写真や絵画とともに紹介。



神と仏—中・近世の佐太神社—

2021年刊 A4判 26ページうち図版38点 800円
184g 送料230円

佐太神社は『出雲国風土記』には「佐太御子社」と記される古社であるが、神仏習合の思想の影響から仏教色を強めた時代もあった。佐太神社の成立と中世以降の仏教との融合と分離の時代の遺宝を紹介する。



歌と佐太神社

2009年刊 A4判 26ページ
うち図版50点 500円 182g
送料230円

佐太神社は、歴代藩主や近世の文人墨客の和歌が奉納されるなど和歌と深いゆかりがある。古代から近世にかけての佐太の地の姿を和歌の世界を通じて振り返る。



佐太神社の遺宝—佐太神社の神と仏— (絵ハガキ)

2006年刊 7葉 500円 45g 送料110円

佐太神社に伝わる重要文化財ほか指定文化財を美しい絵ハガキに。それぞれに解説を付す。



出雲の三詩僧の一人 智穀(ちこく)の書

2019年刊 A4判 カラー20ページうち図版30点
600円 139g 送料190円

江戸時代後期、松江朝日寺の智穀(空谷)は、出雲平田法恩寺の日謙道光、出雲鰐淵寺の藕華敬光とともに「出雲の三詩僧」と称された人である。智穀が朝日寺の住職として過ごした20年間の漢詩・和歌などの書画や書簡を紹介する。



斬る 幕末の名工 高橋長信

1993年刊 B5判 36ページ
うち図版36点 800円 173g
送料230円

幕末の江戸で、天下屈指の名工といわれた松江藩の刀工高橋長信の作刀とその生涯を紹介。



幕末を駆けぬけた男たち

1991年刊 B5判 24ページ
うち図版34点 700円 121g
送料190円

幕末鳥取藩の尊王の志士「因藩二十士」のうち5名が鹿島町手結で追っ手に斬殺された「手結浦事変」を中心に、山陰の幕末秘史を紹介。



祈りのかたち

2013年刊 A4判 26ページうち図版50点 850円 178g 送料230円
未知なるものに対する恐れや敬いの気持ちがマツリやまじないを生み出した。松江市や周辺の発掘現場で見つかった弥生時代から江戸時代までの祈りの道具を紹介。



○考古学

海をひらく—弥生・古墳時代の海民（かいみん）—

2023年刊 A4判 30ページ
うち図版51点 1,000円 199g
送料230円

交通の大動脈であった古代の日本海を往来し、定住した人々の足跡をたどり、その後の出雲地方の弥生・古墳文化を再評価する。最新の成果を盛り込み、日本海沿いに点在する海村の存在を明らかにする。1998年度佐太前遺跡調査報告併載。



発掘された国引き神話—古代狭田王国の遺宝—

2008年刊 A4判 26ページ
うち図版33点 700円 187g
送料230円

『出雲国風土記』にみえる伝説の狭田王国を発掘資料で再構成する。弥生時代に芽生え、海上交通を掌握して古墳時代前半に最盛期を迎えるものの、後の出雲国となるまともに吸収され、衰亡するさまを豊富な図版で検証する。



古墳時代の田和山遺跡と周辺地域

2020年刊 A4判 カラー16ページ
うち図版30点 600円 106g
送料190円

弥生時代の環壕集落廃絶後の古墳時代の田和山遺跡を紹介。古墳時代中期の集落では、玉作工房や自然流水路での初期須恵器を用いた祭祀など地域の首長の関与が垣間見える。



松江城下を掘る

2007年刊 A4判 26ページうち
図版46点 500円 190g
送料230円

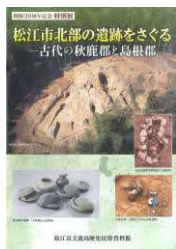
近年の発掘調査の結果、町並みは変わらないものの水害に対して嵩上げを繰り返すなど、徐々に明らかになってきた城下町松江の成立事情と、そこに暮らした人々の生活を速報する。



松江市北部の遺跡をさぐる—古代の秋鹿郡と島根郡

2018年刊 A4判 カラー16ページ
うち図版38点 200円 93g
送料180円

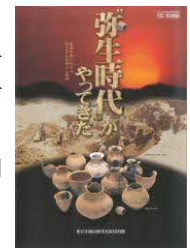
松江市が発掘調査した松江市北部の遺跡の中から、公開頻度の少ない遺跡の資料や新発見の資料を紹介。



弥生時代がやってきた

—島根半島における弥生文化の導入と展開—
2005年刊 A4判 26ページうち図版25点 800円 188g 送料230円

古浦砂丘遺跡、堀部第1遺跡の調査報告書の刊行により、島根半島の弥生時代前期の墳墓の様相が明らかになってきた。低湿地への進出が始まった縄文時代後期から弥生時代中期までの弥生文化が導入・展開される時代の資料を集成。



『出雲国風土記』と松江市北部の地域社会—秋鹿郡と島根郡

2014年刊 A4判 26ページ
うち図版47点 800円 184g
送料230円

松江市北部にあたる秋鹿郡と島根郡の古代の地域社会のありさまを『出雲国風土記』をもとに絵図や最近の発掘資料から探る。



海の記憶—波濤を越えた人々—

2003年刊 A4判 26ページうち図版36点 700円 205g 送料230円
島根半島は海に面し、その歴史は海上交通によって節目を迎えている。縄文時代から弥生、古墳時代、古代・中近世にいたる海上を通じた地域間交流の姿を時代ごとに明らかにする。



文様の世界—縄文と弥生の美と祈り—

2002年刊 A4判 22ページ
うち図版51点 800円 220g
送料230円

原始・古代の「文様」を中心に仏教美術の伝来以前にわが国で盛興した幾何学文様の美術と、文様の裏側にある精神性について検証する。



海の記憶—波濤を越えた人々— (絵ハガキ)

1997年刊 7葉 600円 72g 送料180円

海に面した鹿島町に残された交流の姿を示す遺跡、遺物の写真を絵ハガキに。



古墳出現—奥才古墳群からみる前期古墳の様相—

2001年刊 A4判 22ページ
うち図版48点 900円 221g
送料230円

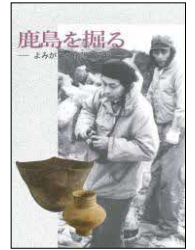
奥才古墳群、同第8支群での調査成果をもとに出雲地方での新たな調査成果を盛り込み、古墳成立の事情を探る。



鹿島を掘る—よみがえる伝説の資料—

1992年刊 B5判 56ページ
うち図版57点 800円 214g
送料230円

鹿島の歴史と遺跡の調査を行った島根大学故 山本清名誉教授の目を通して紹介。山本教授の講演録、著作一覧も併載。



古代人の食卓

2000年刊 A4判 24ページ
うち写真図版54点 800円 203g
送料230円

食をテーマに、関連する考古資料を多数の写真で紹介。



○民 俗

海と湖に生きた人々—登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」登録記念—

2025年刊 A4判 30ページうち図版47点 1,000円 199g 送料230円
松江市の北の日本海、市内の二つの汽水湖—宍道湖・中海という環境の異なる三つの水域で行われたそれぞれに特徴のある漁業の形態を、登録された漁撈用具を通して紹介する。



開拓者の眠るところ—速報！堀部第1遺跡木棺墓群—

1999年刊 A4判 カラー12ページ
700円 86g 送料180円

弥生時代前期、環状に並ぶ57基の標石木棺墓群の調査速報。支石墓状の上部標石、残存する組合せ式木棺、供献された遠賀川系土器などの成果を図、写真多数で紹介。



神々への奉仕—佐陀神能—

2021年刊 A4判 30ページ
うち図版58点 1,000円 199g
送料230円

佐陀神能のユネスコ無形文化遺産登録10周年を記念し、400年にわたる伝統と継承を再考する。巻末に『佐陀大社略記』（文政8年）の翻刻を掲載する。



森のめぐみ 島根県出土木製品集成

1999年刊 A4判 101ページ
1,000円 419g 送料320円

縄文時代から古代まで島根県下の出土木製品図922点を集成。時代、樹種を可能な限り掲載した一覧を作成。



ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財 佐陀神能

2012年刊 A4判 26ページ
うち図版50点 700円 183g
送料230円

2011年秋にユネスコ無形文化遺産に登録された佐陀神能は約400年前から継承されている神事芸能である。その起源と現在の姿を豊富な演舞写真や図版で紹介する。



舞う 重要無形民俗文化財 佐陀神能

1994年刊 B5判 23ページ
うち図版41点 900円 143g
送料190円

出雲神楽に大きな影響を与えたといわれる重要無形民俗文化財 佐陀神能を概観する。



○中国文学

魯迅への道—中国文学者 増田渉の軌跡—

2011年刊 A4判 26ページ
うち図版50点 800円 180g
送料230円

魯迅と中国文学の研究に生涯をささげた増田渉の軌跡を振り返る。魯迅から増田に贈られた直筆の書2幅を掲載。



魯迅の手紙

1996年刊 B5判 32ページ
うち図版15点 600円 145g
送料190円

中国文学者増田渉に送られた魯迅の書簡58通を収録。



海を越えた友情—増田渉と魯迅—

1990年刊 B5判 124ページ
うち図版78点 2,000円 392g
送料320円

鹿島町に生まれ、魯迅に師事、島根大学、大阪市立大学、関西大学で教鞭をとった中国文学者の生涯を豊富な図版と関係者の証言で振り返る。

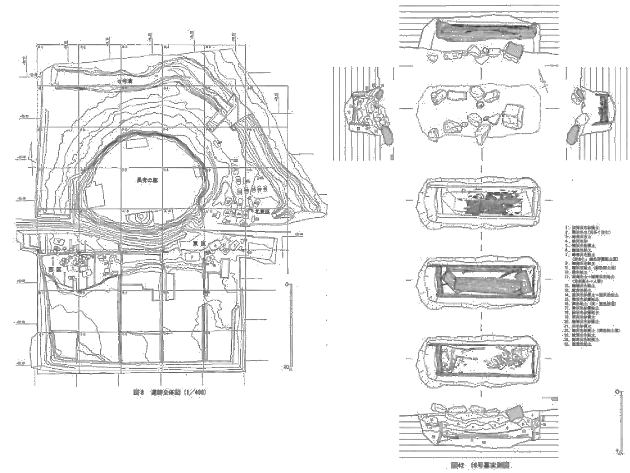


【発掘調査報告書】

堀部第1遺跡

—鹿島町福祉ゾーン整備事業に伴う調査1—

2005年刊 A4判 本文180ページうち挿図193点、
写真図版60ページ 4,000円 957g 送料430円
1997年～1999年調査 約60基もの整然と環状に並んだ弥生前期墳墓群の調査。墳墓の上面に石材を積み、遠賀川式土器を供献する。墓上の標石には大規模なものもある。スギを主とする木棺が残存し、管玉、櫛を副葬するものもある。縄文後期、晩期包含層から大量の土器も出土。



名分塚田遺跡2

—講武地区県営園場整備事業発掘調査報告書3—

1987年刊 B5判 本文28ページうち挿図16点、
写真図版8ページ 700円 183g 送料230円
集落縁辺部低湿地の調査。中世から古代の遺物が出土。墨書土器1点。弥生時代中期の遺物も出土。

古浦遺跡

2005年刊 B5判上製函入 本文386ページうち挿図157点、図版154点 5,300円 1,291g 送料600円
1961年～1964年調査 編著：藤田等 静岡大学名誉教授。
砂丘に営まれた弥生前期の集団墓地。60体余りの人骨と数々の遺物が出土し、朝鮮半島との関係が示唆される。墓地は弥生時代中期、古墳時代にも引き続いて営まれる。出土人骨、小児装着貝輪の検討も併載。

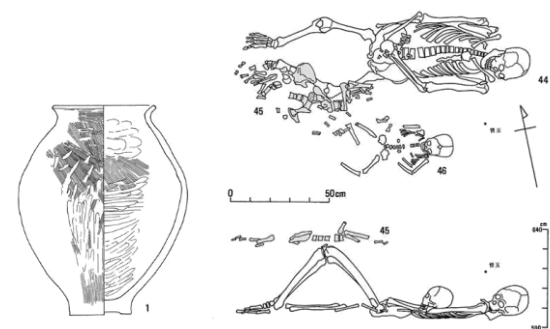


図81 44・45・46号人骨出土状態

鹿島の遺跡小集—第3集—

2001年刊 A4判 カラー11ページ
うち図版10点 600円 101g
送料190円

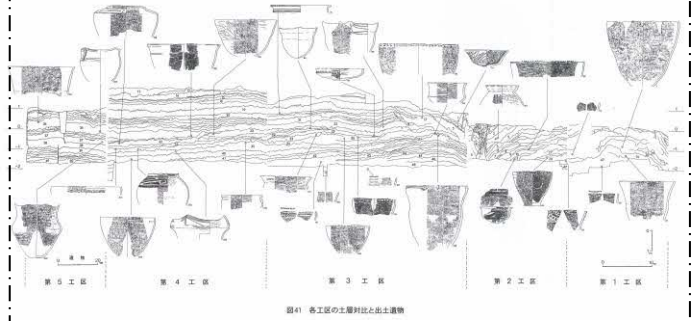
鹿島町に存在する主な遺跡の数々を紹介。また、町内の遺跡の位置を表示した遺跡地図付。



佐太講武貝塚—主要地方道松江鹿島美保関線交通安全施設整備工事に伴う調査—

1997年刊 A4判 本文46ページうち挿図41点
写真図版27ページ 1,000円 342g 送料320円

縄文時代前期貝塚に隣接する低湿地部の調査。縄文前期から古墳時代にいたる遺物包含層を層位的に調査。土器253点、石器27点、木製品29点を掲載。晩期層で孔列土器、後期層で石炭など出土。あわせて地質学的分析を併載。



北講武氏元遺跡

—講武地区県営圃場整備事業発掘調査報告書4—

1989年刊 B5判 本文44ページうち挿図39点、
写真図版16ページ 800円 244g 送料230円

縄文時代晩期と弥生時代前期の土器が同一層から出土。突帯土器には刻みのない晩期最終末のものがある。地域が弥生化していく過程を後付けうる資料。弥生時代後期の水路群、古代・中世の水田面を一部で確認。

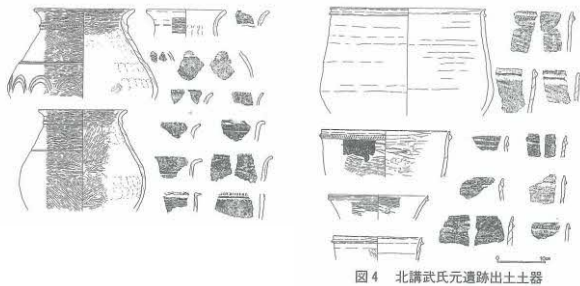
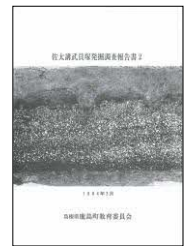


図4 北講武氏元遺跡出土土器

佐太講武貝塚発掘調査報告書2

1994年刊 B5判 本文32ページ
うち挿図26点、写真図版7ページ
700円 199g 送料230円

日本海側では稀であるとして史跡指定を受けている縄文時代前期貝塚の調査。層厚約1mの貝層をトレンチで掘りぬき、堆積状況、遺物多数を確認。出土動物・植物遺存体の分析を併載。



北講武氏元遺跡2

—鹿島町福祉ゾーン整備事業に伴う調査2—

2006年刊 A4判 本文32ページうち挿図22点、
写真図版6ページ 1,300円 242g 送料230円

縄文時代晩期と弥生時代前期の土器が同一層から出土。同時代と考えられる田下駄、火鑽臼などが出土。奈良・平安時代の遺物も数多く検出。

南講武草田遺跡

—講武地区県営圃場整備事業発掘調査報告書5—

1992年刊 B5判 本文114ページうち挿図71点、
写真図版20ページ 2,700円 444g 送料320円

弥生時代後期から古墳時代初頭の墳墓群の調査。近畿地方の土器をはじめ、朝鮮半島の瓦質土器など各地から搬入された遺物が多数出土。山陰系土器の標識となる資料500余点を掲載。

下谷遺跡・稗田遺跡

1994年刊 B5判 本文57ページ
うち挿図52点、写真図版14ページ
400円 277g 送料320円

下谷遺跡は、中世から古代の小集落の調査。稗田遺跡は、弥生時代中期から古墳時代前期までの膨大な木製品を出土した低湿地遺跡の調査。準構造船材、扉材を含む建築材、農具など木製品83点を掲載。年輪年代分析を併載。



図	等差線 (小形壺)	凸凹線 (大口壺)	壺	鼓形壺台	徳利杯	高杯	輸入系遺物
1							
2							古備系
3							近畿系
4							
5							
6							
7							

奥才古墳群

1985年初版/2001年増刷 B5判 本文192ページ
 挿図141点 写真図版82ページ 5,600円 872g
 送料430円

古墳時代前半期を中心に築造された古墳群26基の調査。箱式石棺である14号墳第1主体部からは内行花文鏡、方格渦文鏡、紡錘車形石製品、素環頭大刀、鉄槍などが、34号墳からは石釧、琥珀製、碧玉製の勾玉など出土。棺内に礫を敷く長大な箱式木棺を多く検出。初版300部のため、稀観本となっていた報告の増刷。一部増補。

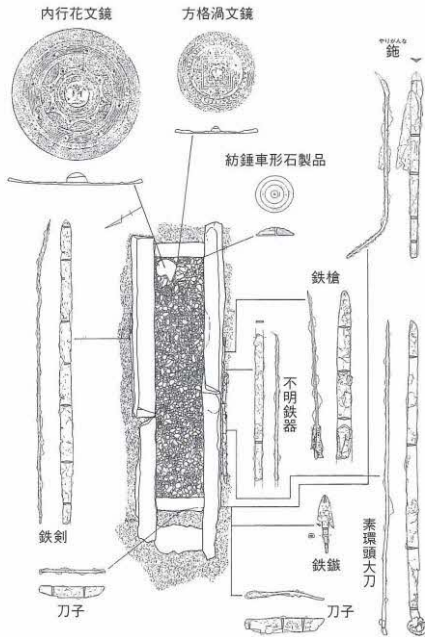


Fig.19 奥才14号墳1号石棺の副葬宝器

奥才古墳群第8支群

2002年刊 A4判 本文60ページうち挿図70点、
 写真図版34ページ 900円 455g 送料320円

古墳時代初頭、1985年刊の奥才古墳群に先行して築造が始められていた古墳群14基の調査。刳抜木棺を主体部とするものから始まる古墳時代初頭の古墳群の様相が明らかになった。鉄器や鼓形器台転用枕などが出土。出雲地方と丹後地方など、日本海沿岸各地の交流に言及。

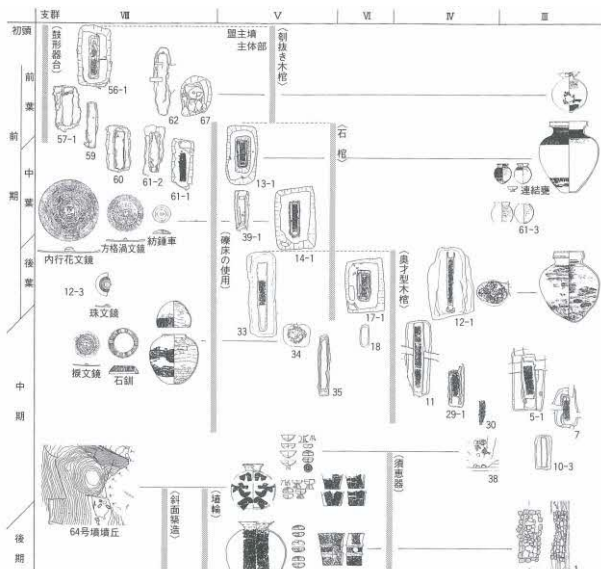


図69 奥才古墳群主体部の変遷 (土器棺は1/100、他主体部は1/250、遺物は縮尺不同)

【歴史関係図書】

重要文化財 佐太神社—佐太神社の総合的研究—

1997年刊 A5判上製函入 456ページ
 カラー図版8葉 3,000円 915g
 送料600円

出雲国二の宮で、本殿ならびに社室に重要文化財をもつ佐太神社の総合研究。歴史篇、宗教・民俗篇、文学篇、芸能・美術・建築篇、自然篇、資料篇からなる。



鹿島町史料

1976年刊 A5判上製 605ページ
 5,000円 1,012g 送料600円

古代から幕末にいたる間の史料208編を網羅、活字化。鹿島町の歴史をたどる基本史料。



安部正吉著 因藩勤王二十士と手結の浦事変

1992年刊 A5判 132ページ
 1,400円 257g 送料320円

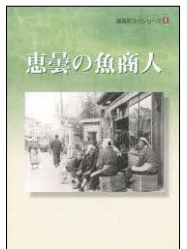
幕末鳥取藩の尊王の志士因幡二十士が鹿島町手結で追手に斬殺された「手結浦事変」を詳細に紹介。1936年出版の復刻。



山本 弘著 恵曇の魚商人

1998年刊 A5判 50ページ
 1,000円 124g 送料190円

漁港のある鹿島町恵曇地区から松江市に鮮魚を売り歩く魚商人の姿は松江の風物詩でもある。この魚商人の歴史と変遷を明らかにするとともに、現在の姿を追うルポルタージュ。



■ご注文・お問合せ■

松江市立鹿島歴史民俗資料館

島根県松江市鹿島町名分 1355-4 〒690-0803
 TEL・FAX 0852-82-2797

冊子代金に送料を加えた金額を現金書留または為替でお送りください。折り返し図書を発送させていただきます。定額小為替でおつりが生ずる場合は、切手で返送させていただきますので、ご了承ください。部数がまとまる場合は、ご相談ください。送料着払いでの発送も可能です。

2026.04